

「あなたの当たり前は、誰かの魅力かもしれない…」

サロン通信

大田原市移住・定住交流サロン通信
第3号 2021年6月1日発行

鮎釣り解禁ですね！大田原市移住・定住交流サロンです。昨年4月から大田原市役所A別館2階で、移住したい方の相談窓口業務を3名体制で行っています。

「えっ?!こんなところが魅力なの?!」大田原に住んでいる私たちが「当たり前」と思っていること。それが移住してきた人にとっては「魅力」に感じられています。この通信では、そんな大田原の魅力について、毎月1回お伝えしています。

大田原に来てよかった!



移住してきた
地域おこし協力隊
白井 あかね

ビルとマンションが立ち並ぶ東京・品川区で生まれ育ちました。中学・高校は電車で片道1時間半かけて通学し、吹奏楽に明け暮れていたため、地域の人との関わりがない生活でした。

中学生の時、旧黒羽町にあった「みつばち村」に合宿に来たことがあり、大田原にご縁を感じています。

史跡や歴史的な街並みもあり、田園風景や自然も豊かな大田原での生活は、毎日が旅のよう。カメラを持って散歩する時間が増えました。



どんな街だったの?
と想像したり。



鮎釣りの人を見るのが好きです。

突然、取材させていただくこともありますが、皆さん、とても親切で感激!ご近所さんや地域に話せる人がいることは、暮らしの楽しさや安心につながっていると感じます。



親切な方たちに助けられています

「農業研修や就農」に関する 移住相談が増えています!



移住コーディネーター
西崎

農業従事者にお話を伺ったところ、

- ・高齢化による後継者不足
- ・耕作放棄地が増えてきている

という問題があり、解決策の一つとして、農業体験したい人や働きたい人がいたら受け入れたいとおっしゃっていました。農業体験・研修を受け入れてもいいという方は当サロンにご連絡ください!

大田原のいい場所・モノ・人などを PRしています!

2月に行われた「日本遺産・那須野が原 魅力発掘フォトコンテスト」で2作品が入賞しました!今後も、魅力ある大田原の写真や動画をSNSで発信していくので、QRコードから是非ご覧ください。



地域おこし協力隊
益子



YouTube

使っていない・住んでいない家を

「空き家バンク」に登録しませんか?

「空き家バンク」は、所有している空き家の情報を登録していただき、利用したい方に情報提供する制度です。詳しくは下記の担当課にご連絡ください。

建築住宅課 ☎0287-23-1916

大田原市移住・定住交流サロン

大田原市役所 総合政策部 政策推進課
大田原市本町1-4-1
大田原市役所A別館2階
☎0287-23-8794



いいね!フォローを
お願いします!